

東京都立中野工科高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科： 家庭科 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 4 組
教科担当者：（1組：成田・高野）（2組：高橋・高野）（3組：高橋・高野）（4組：高橋・高野）
使用教科書：（図説 家庭基礎 実教出版）
教科 家庭科 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な知識・技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目	家庭基礎	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・家庭科の授業について A 消費行動を考える B 基礎縫い（並縫い・半返し縫い・まつり縫い・ボタン付け） C 調理 【知識・技能】 「契約」の基本的な仕組みを理解できる。 18歳成人でできることを理解できる。基礎縫いの縫い方について理解できる。 【思考・判断・表現】 生活情報を収集し、消費行動を思考・判断できる。基礎縫いを日常生活に実践できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境に配慮した消費行動を工夫することができる。主体的に実習に取り組むことができる。	消費行動を考える ・契約と主体的な消費行動 ・18歳成人について 被服実習 ・基礎縫い	【知識・技能】 「契約」の基本的な仕組みを理解できる。18歳成人でできることを理解できる。基礎縫いの縫い方について理解できる。 【思考・判断・表現】 生活情報を収集し、消費行動を思考・判断できる。基礎縫いを日常生活に実践できる。日常の調理や工業科の授業に生かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境に配慮した消費行動を工夫することができる。主体的に実習に取り組むことができる。	○	○	○	18
		消費行動を考える ・多様化する販売方法と問題商法 ・基礎縫い、理実習	【知識・技能】 多様化する販売方法や問題商法を理解することが理解できる。 【思考・判断・表現】 問題商法など被害を未然に防ぐ判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 早期に解決するための方法を考え、行動できる。	○	○	○	
	A 消費行動を考える② B 被服実習② エプロン制作…基礎縫いを活かし、調理実習で使用するエプロンを作成 【知識・技能】 消費生活に関わる法律・制度を理解できる。クレジットなどの消費者信用の仕組みを理解できる。 【思考・判断・表現】 返済方法など多重債務に陥らないために何が必要か、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 支払い方法について計画的に考えることができ、お金の大切さを考えることができ、生活を工夫できる。	消費行動を考える ・消費者を守る制度と法律 ・多様化する支払い方法 ・消費者の権利と責任 被服実習 ・基礎縫い ・エプロン制作	【知識・技能】 消費生活に関わる法律・制度を理解できる。クレジットなどの消費者信用の仕組みを理解できる。 【思考・判断・表現】 返済方法など多重債務に陥らないために何が必要か、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 支払い方法について計画的に考えることができ、お金の大切さを考えることができ、生活を工夫できる。	○	○	○	10
	C 衣生活を考える 【知識・技能】 人と衣服のかかわりや衣服機能について理解できる。繊維の種類と特徴、用途が理解できる。繊維の種類や構造、衣服素材の特徴、素材の性質を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 適切な被服材料の選択と取扱いができる。快適な衣服とはどのような着心地が考えられる。	衣生活をつくる ・人と衣服のかかわり ・健康で安全な服 ・衣服素材の種類と特徴 ・衣服の素材の性能と改善 被服実習 ・エプロン制作 調理実習	【知識・技能】 人と衣服のかかわりや衣服機能について理解できる。繊維の種類と特徴、用途が理解できる。繊維の種類や構造、衣服素材の特徴、素材の性質を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 適切な被服材料の選択と取扱いができる。快適な衣服とはどのような着心地が考えられる。	○		○	
	確認テスト②			○	○		1
2 学 期	【知識・技能】 実生活において、衣類の入手から処分まで計画的に営む知識を身につけている。衣類の表示を理解することができる。衣類の製造について、衣類と資源についての関係を理解できる。 【思考・判断・表現】 衣服の購入の際、表示から必要な情報を読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験に積極的に参加している。現在の問題点を把握し、自分の行動を見直すことができる。	衣生活をつくる ・衣生活の計画と購入 ・衣服の管理 ・健康で安全な服 ・衣服の種類と特徴 被服実習 ・エプロン制作	【知識・技能】 実生活において、衣類の入手から処分まで計画的に営む知識を身につけている。衣類の表示を理解することができる。衣類の製造について、衣類と資源についての関係を理解できる。 【思考・判断・表現】 衣服の購入の際、表示から必要な情報を読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験に積極的に参加している。現在の問題点を把握し、自分の行動を見直すことができる。	○	○	○	10
	D 子どもとかかわる 知識・技能 乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身につけことができる。家庭保育・集団保育の重要性、地域環境・社会環境の重要性、子どもの福祉について理解できる。 【思考・判断・表現】 体験実習を通して、妊婦、子どもの立場を考慮することができる。子どもの発達に対し、どのようなかかわりができるか、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の子育ての環境や地域社会、国の支援策、課題などについて情報を集め、考えることができる。実習に積極的に参加している。	子どもとかかわる ・子どもの誕生 ・からだの発達 ・運動機能の発達と知的発達 子どもとかかわる ・子どもの遊び ・子どもを守る法律・制度 被服実習 ・エプロン制作	【知識・技能】 乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身につけことができる。家庭保育・集団保育の重要性、地域環境・社会環境の重要性、子どもの福祉について理解できる。 【思考・判断・表現】 体験実習を通して、妊婦、子どもの立場を考慮することができる。子どもの発達に対し、どのようなかかわりができるか、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の子育ての環境や地域社会、国の支援策、課題などについて情報を集め、考えることができる。実習に積極的に参加している。	○	○	○	8
	E 食生活をつくる B 被服実習③ エコバック制作	食生活をつくる ・私たちの食生活と健康 ・5大栄養素	【知識・技能】 現代の食生活の傾向を理解し、健康な食生活の必要性を考えることができる。五大栄養素からの繋が				

	【知識・技能】 現代の食生活の傾向を理解し、健康な食生活の必要性を考えることができる。五大栄養素からだの繋がりについて考えることができる。 【思考・判断・表現】 食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって知識を深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実習に積極的に参加している。自分の食生活をはじめ、現代の食生活の問題点を考えることができる。	・食品の選択と表示 ・調理の基本 被服実習 ・エコバック制作 調理実習	りについて考えることができる。 【思考・判断・表現】 食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって知識を深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実習に積極的に参加している。自分の食生活をはじめ、現代の食生活の問題点を考えることができる。	○	○	○	12
	確認テスト④			○	○		1
	F 住まいをつくる 【知識・技能】 住まいの機能や地域性豊かな住まいの文化を理解できる。平面図が読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 住まいにおいて、バリアの必要などや平面図を読み取ることによって、適切なところに家具などを置けるなど、工夫をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の住まいの課題や自然災害についての防災、減災対策について考えることができる。	調理実習① 調理実習② 住生活をつくる ・人と住まいのかかわり ・平面図から見た住空間 ・安全な住まい	【知識・技能】 住まいの機能や地域性豊かな住まいの文化を理解できる。平面図が読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 住まいにおいて、バリアの必要などや平面図を読み取ることによって、適切なところに家具などを置けるなど、工夫をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の住まいの課題や自然災害についての防災、減災対策について考えることができる。	○	○	○	6
3 学 期	G 自分らしい生き方と家族 高齢者とかかわる 【知識・技能】 各ライフステージごとの発達段階について理解することができる。青年期の生き方について考え、4つの自立を理解することができる。 現在の高齢社会、高齢化の進む社会について、理解することができる。	自分らしい生き方と家族 ・青年を生きる ・生活を支える労働 高齢者とかかわる ・高齢社会に生きる ・高齢者を知る 調理実習	【知識・技能】 各ライフステージごとの発達段階について理解することができる。青年期の生き方について考え、4つの自立を理解することができる。 現在の高齢社会、高齢化の進む社会について、理解することができる。 【思考・判断・表現】 自分自身の生活を振り返り、自立するために何が必要かを理解し、将来について考えることができる。 高齢者について、自分と結びつけながら考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の生活設計を積極的に考えることができる。 高齢者と積極的にかかわりを持つことの意義を理解できる。	○	○	○	3
	確認テスト②			○	○		1
							合計
							70

